



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月31日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2109 URL <https://www.mitsui-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 雑賀 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 鈴木 康史 TEL 03(3663)3111
 四半期報告書提出予定日 2018年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	26,693	△0.1	1,134	△46.3	3,012	△32.3	1,929	△33.9
2018年3月期第1四半期	26,709	3.3	2,111	37.6	4,450	33.9	2,917	40.7

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 2,022百万円 (△38.0%) 2018年3月期第1四半期 3,263百万円 (58.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	72.26	—
2018年3月期第1四半期	109.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	125,362	90,288	65.9	3,094.58
2018年3月期	131,852	89,871	62.4	3,083.61

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 82,632百万円 2018年3月期 82,340百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00
2019年3月期	—				
2019年3月期（予想）		55.00	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	52,000	△0.8	1,700	△52.7	5,200	△35.7	3,300	△38.0	123.58
通期	105,000	△0.3	4,700	△26.0	12,000	△11.8	7,600	△8.6	284.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	28,333,480株	2018年3月期	28,333,480株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,631,049株	2018年3月期	1,630,807株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	26,702,584株	2018年3月期1Q	26,703,181株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、回復基調が持続し、個人消費につきましても緩やかな持ち直しが見られましたが、米国通商政策の展開をはじめとして先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは既存事業の収益力強化を図りつつ、成長分野へ経営資源の再配分を進めることにより、堅固な事業基盤を確保すべく、各施策の実行に鋭意取り組みました。

(砂糖事業)

海外粗糖相場は、期初は12セント半ばでスタートしたのち、世界的な需給緩和観測の拡大を受けて急落し、4月末には10セント後半まで下落しました。その後、原油価格の上昇、ブラジルのエタノール生産比率の上昇から徐々に値を上げ、再び12セント後半に達しました。世界的な砂糖在庫水準が依然として高止まりする中、上値の重い展開が続き、11セント後半で当第1四半期末を迎えました。

前年同期比では、軟調な粗糖相場を背景とした国内販売価格の下方圧力や運賃及び燃料費の上昇、また、子会社における天候の影響による一過性の販売量減少等といった織込済みの要因が現出し減益となりましたが、製品出荷が比較的好調であったこともあり、全般的には概ね期初の見込み通りの推移となりました。

以上の結果、砂糖事業全体で、売上高21,201百万円、営業利益625百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

期を通じて189円～190円で推移

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値 12.40セント 高値 12.97セント 安値 10.69セント 終値 11.86セント

(フードサイエンス事業)

パラチノース、パラチニットの販売は好調に推移しましたが、販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は前年同期を下回りました。

連結子会社では、(株)タイショーテクノスにおいて販売が順調であったものの、ニュートリー(株)は、前期に譲り受けた事業の売上が低調に推移しました。

以上の結果、フードサイエンス事業全体で、売上高5,029百万円、営業利益283百万円となりました。

(不動産事業)

契約更新を迎えた物件の賃料収入減等により売上高は前年同期を下回りましたが、既存賃貸物件に係る修繕工事の減少等により営業利益は前年同期を上回り、売上高462百万円、営業利益224百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は26,693百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は1,134百万円（前年同期比46.3%減）となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティーは1,808百万円を計上しましたが、粗糖相場の軟調推移によるタイ事業の不振や天候の影響による国内関連会社の生産量減で持分法による投資利益は41百万円にとどまり、経常利益3,012百万円（前年同期比32.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,929百万円（前年同期比33.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[連結財政状態の変動状況]

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比6,490百万円減少し125,362百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比6,100百万円減少し53,929百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少1,842百万円、商品及び製品の減少3,747百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比389百万円減少し71,432百万円となりました。これは主として、建設仮勘定の増加545百万円等があった一方で、機械装置及び運搬具の減少458百万円、建物及び構築物の減少172百万円等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比6,908百万円減少し35,073百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少1,105百万円、借入金の減少1,814百万円、未払法人税等の減少2,079百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比417百万円増加し90,288百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益1,929百万円、剰余金の配当1,602百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、2018年5月14日に公表の通りであり変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,069	23,227
受取手形及び売掛金	8,976	9,003
商品及び製品	16,243	12,496
仕掛品	1,759	1,561
原材料及び貯蔵品	6,336	6,049
その他	1,646	1,592
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	60,030	53,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,487	37,531
減価償却累計額	△22,959	△23,175
建物及び構築物 (純額)	14,527	14,355
機械装置及び運搬具	78,149	78,282
減価償却累計額	△62,544	△63,135
機械装置及び運搬具 (純額)	15,605	15,147
工具、器具及び備品	2,452	2,481
減価償却累計額	△2,077	△2,089
工具、器具及び備品 (純額)	375	391
土地	18,436	18,436
リース資産	908	908
減価償却累計額	△401	△425
リース資産 (純額)	507	483
建設仮勘定	1,661	2,207
有形固定資産合計	51,114	51,021
無形固定資産		
のれん	1,221	1,133
その他	678	638
無形固定資産合計	1,899	1,772
投資その他の資産		
投資有価証券	10,911	10,896
長期貸付金	29	29
退職給付に係る資産	466	476
繰延税金資産	974	895
その他	6,486	6,399
貸倒引当金	△59	△59
投資その他の資産合計	18,808	18,638
固定資産合計	71,822	71,432
資産合計	131,852	125,362

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,547	6,442
短期借入金	3,200	1,680
1年内返済予定の長期借入金	1,134	1,120
リース債務	96	96
未払費用	3,183	2,753
未払法人税等	2,985	905
役員賞与引当金	71	16
その他	4,990	3,565
流動負債合計	23,209	16,579
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,070	1,790
リース債務	439	410
繰延税金負債	1,415	1,421
役員退職慰労引当金	233	242
退職給付に係る負債	2,812	2,848
資産除去債務	396	396
その他	1,403	1,382
固定負債合計	18,771	18,493
負債合計	41,981	35,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,291	1,291
利益剰余金	75,366	75,693
自己株式	△2,907	△2,908
株主資本合計	80,833	81,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	896	919
繰延ヘッジ損益	—	1
為替換算調整勘定	347	292
退職給付に係る調整累計額	263	260
その他の包括利益累計額合計	1,507	1,473
非支配株主持分	7,530	7,656
純資産合計	89,871	90,288
負債純資産合計	131,852	125,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	26,709	26,693
売上原価	19,869	20,555
売上総利益	6,839	6,138
販売費及び一般管理費		
配送費	1,149	1,317
役員賞与引当金繰入額	16	15
退職給付費用	49	46
その他	3,513	3,625
販売費及び一般管理費合計	4,728	5,004
営業利益	2,111	1,134
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	75	26
受取ロイヤリティー	1,647	1,808
持分法による投資利益	592	41
雑収入	86	81
営業外収益合計	2,402	1,958
営業外費用		
支払利息	20	17
固定資産除却損	11	12
設備撤去費	18	27
雑損失	13	23
営業外費用合計	63	81
経常利益	4,450	3,012
特別利益		
保険差益	—	9
負ののれん発生益	24	—
特別利益合計	24	9
特別損失		
固定資産圧縮損	0	9
特別損失合計	0	9
税金等調整前四半期純利益	4,473	3,012
法人税、住民税及び事業税	1,268	888
法人税等調整額	27	71
法人税等合計	1,296	959
四半期純利益	3,177	2,052
非支配株主に帰属する四半期純利益	259	122
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,917	1,929

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	3,177	2,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	26
繰延ヘッジ損益	△2	2
退職給付に係る調整額	4	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	26	△55
その他の包括利益合計	86	△29
四半期包括利益	3,263	2,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,000	1,895
非支配株主に係る四半期包括利益	263	127

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,315	4,913	480	26,709	—	26,709
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	34	10	61	△61	—
計	21,332	4,947	490	26,770	△61	26,709
セグメント利益	1,580	310	219	2,111	—	2,111

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,201	5,029	462	26,693	—	26,693
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	33	10	62	△62	—
計	21,220	5,062	473	26,756	△62	26,693
セグメント利益	625	283	224	1,134	—	1,134

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。